

KW 型の附属品

構成



接続できるケイフレックス

●KW 型の附属品に接続できるケイフレックスの種類は、次の型式 KPFB の 1 種類のみです。

接続できるケイフレックス型式	備考
KPFB	接続方法を記した施工要領書をご請求下さい。

インシュレータの色

●KW 型のロックアウト用コネクタの種類は、管用平行おねじ付きのみです。従って、おねじ部の通線口に取付けているインシュレータの色は赤色です。

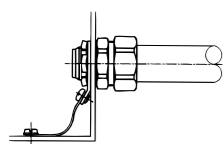
インシュレータの色	接続おねじの種類
赤色	管用平行おねじ (G)

材料

●KW 型の附属品を構成する部品の材料は、原則として次のとおりです。

部品名	材料	処理	
本体	ストレート形	ZDC (亜鉛合金ダイカスト)	電気亜鉛めっき
	90°形/45°形	ZDC (亜鉛合金ダイカスト)	電気亜鉛めっき
インシュレータ	PA (ポリアミド樹脂)	—	
袋ナット	ZDC (亜鉛合金ダイカスト)	電気亜鉛めっき	
インナースリーブ	SPCE (冷間圧延鋼板)	電気亜鉛めっき	
エンドパッキン	NBR (ニトリルゴム)	—	
アウタースリーブ	SPCE (冷間圧延鋼板)	電気亜鉛めっき	
シートパッキン	NBR (ニトリルゴム)	—	
ロックナット	SPHC (熱間圧延鋼板)	電気亜鉛めっき	
C形リング	SUS 304 (ステンレス鋼板)	—	

ボンディング



●ノイズ対策としてケイフレックス Type KPFB を使用する場合は、アースを確実にするためにアース端子付きワッシャ (型式 RWEG) 又はアース端子付きロックナット (型式 RLEG) をご使用下さい。詳細は、商品分類名「サンパー」360 頁、362 頁をご参照下さい。

ケイフレックスの切断

●ケイフレックスの切断は、高速切断機、バンドソー又は金鋸で行います。

●ビニール・ブレード掛けケイフレックス KPFB の切断は、切断部のブレード鋼線のバラケ防止のため、切断部にビニールテープを約二重巻きし、さらに KPF とブレードのずれ防止のための切断部から約 100mm 離れた両側にビニールテープを同様に巻き、切断部のテープの真中で切断します。

●ケイフレックス切断後、管端のコア、PVC、ブレード鋼線のバリを万能バサミで取除きます。

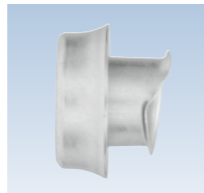
注意

●ビニール・ブレード掛けケイフレックス KPFB の切断した端部は、KPF とブレードがずれないことが必要条件です。このため KPF とブレードのずれ防止のため、切断部から約 100mm 離れた部分をビニールテープで強く巻いて下さい。KPF がずれた状態でインナースリーブを挿入し、コネクタ本体に接続しますと、接続強度が極端に低下します。ご注意ください。

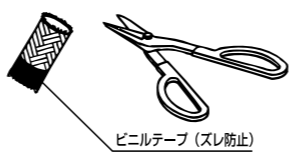
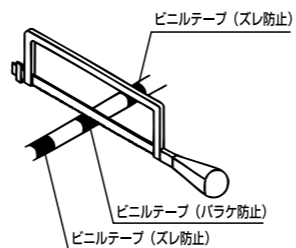
ケイフレックス端末のエッジ、バリ、ブレード線先に触れると怪我をする恐れがありますので、取り扱いにご注意下さい。

フェラル

ケイフレックスの管端保護 (鋼製)



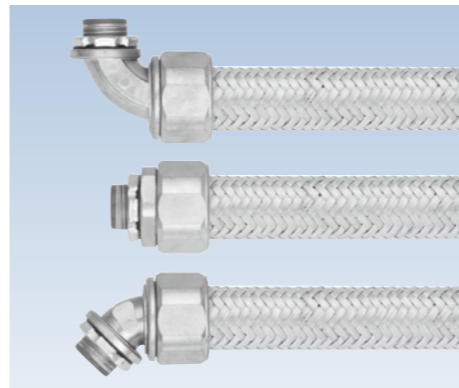
●ケイフレックスの端末を保護するためのプッシングとしてご使用できます。
●詳細については、74 頁をご参照下さい。



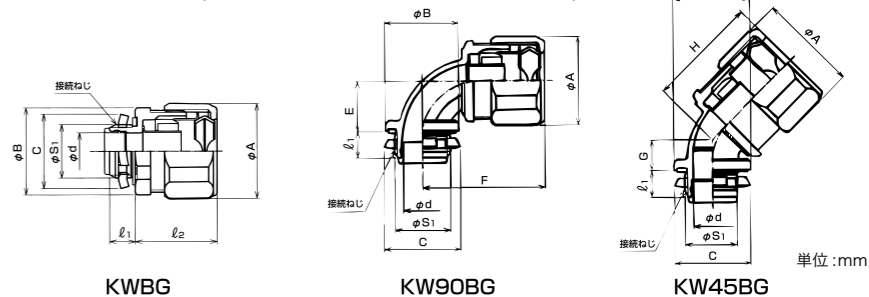
KPFとブレードが揃った状態 (良)

コネクタ ノックアウト接続用

管用平行おねじ付き



●ビニール・ブレード掛けケイフレックス (型式 KPFB) を制御盤類のロックアウトに接続するためのコネクタです。
●ケイフレックスとコネクタの引張力は #10 は 500N (JIS C 8461-23 の分類コードは 3 ミディアム)、#12~54 は 1000N (JIS C 8461-23 の分類コードは 4 ヘビー) です。



納期区分	品番	接続できるケイフレックス	挿入できるケーブル最大外径 (mm) ※1	φA	φB	C	φd	l ₁	l ₂	接続ねじ		重量 (g/個)	入数 (個/袋)
										JIS B 0202 φS1	呼び		
○	KWBG 10	10	8	30.5	29.2	28.0	8.8	10.0	26	20.9	G 1/2	79	10
○	KWBG 12	12	10	33.4	30.8	28.0	11.1	10.0	26	20.9	G 1/2	86	10
○	KWBG 16	16	13	37.2	33.8	28.0	14.1	10.0	27	20.9	G 1/2	102	10
○	KWBG 22	22	18	45.1	41.1	36.0	19.3	12.0	29	26.4	G 3/4	151	10
○	KWBG 28	28	24	53.3	49.2	44.0	24.6	14.0	33	33.2	G 1	200	5
○	KWBG 36	36	32	64.6	60.1	53.0	33.0	14.0	37	41.9	G 1-1/4	347	5
□	KWBG 42	42	37	71.1	66.2	61.0	37.9	16.0	43	47.8	G 1-1/2	450	5
□	KWBG 54	54	48	84.3	79.1	74.0	49.2	16.0	44	59.6	G 2	580	2



納期区分	品番	接続できるケイフレックス	挿入できるケーブル最大外径 (mm) ※1	φA	φB	C	φd	E	F	l ₁	接続ねじ		重量 (g/個)	入数 (個/袋)
											JIS B 0202 φS1	呼び		
□	KW90BG 10	10	8	30.5	26.0	28.0	8.8	16.2	40	10.0	20.9	G 1/2	95	5
□	KW90BG 12	12	10	33.4	27.5	28.0	11.1	18.6	40	10.0	20.9	G 1/2	103	5
○	KW90BG 16	16	13	37.2	29.0	28.0	13.8	19.5	42	10.0	20.9	G 1/2	128	5
○	KW90BG 22	22	18	45.1	35.5	36.0	19.3	24.5	48	12.0	26.4	G 3/4	192	10
○	KW90BG 28	28	23	53.3	43.5	44.0	24.6	28.5	57	14.0	33.2	G 1	303	5
○	KW90BG 36	36	32	64.6	52.5	53.0	33.0	33.6	65	14.0	41.9	G 1-1/4	451	5

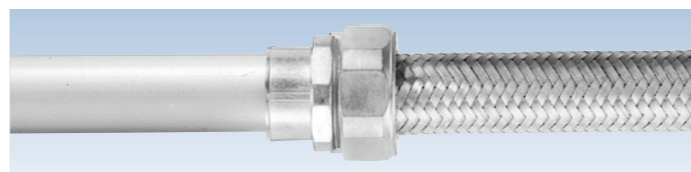
注: ※1 印について、挿入できるケーブル最大外径は本体最小内径をもとにしています。90°型本体部を通線する場合、ケーブルによっては通線できない場合もありますので、最大外径の 40~60% の外径を目安として下さい。

納期区分	品番	接続できるケイフレックス	挿入できるケーブル最大外径 (mm) ※1	φA	φB	C	φd	G	H	l ₁	接続ねじ		重量 (g/個)	入数 (個/袋)
											JIS B 0202 φS1	呼び		
□	KW45BG 10	10	8	30.5	27.5	28.0	8.8	6.9	32	10.0	20.9	G 1/2	89	5
□	KW45BG 12	12	10	33.4	27.5	28.0	11.1	8.5	34	10.0	20.9	G 1/2	98	5
□	KW45BG 16	16	13	37.2	29.0	28.0	14.1	11.5	30	10.0	20.9	G 1/2	111	5
○	KW45BG 22	32	18	45.1	35.5	36.0	19.3	12.7	34	12.0	26.4	G 3/4	170	5
□	KW45BG 28	48	23	53.3	43.5	44.0	24.6	14.8	40	14.0	33.2	G 1	285	5
□	KW45BG 36	36	32	64.6	52.5	53.0	33.0	17.8	46	14.0	41.9	G 1-1/4	425	5

注: ※1 印について、挿入できるケーブル最大外径は本体最小内径をもとにしています。45°型本体部を通線する場合、ケーブルによっては通線できない場合もありますので、最大外径の 40~60% の外径を目安として下さい。

コンビネーションカップリング 厚鋼電線管接続用

ビニール・ブレード掛けケイフレックス+厚鋼電線管



●ビニール・ブレード掛けケイフレックスと鋼製電線管を接続するためのコンビネーションカップリングです。
●ケイフレックスとコンビネーションカップリングの引張力は #10 は 500N (JIS C 8461-23 の分類コードは 3 ミディアム)、#12~54 は 1000N (JIS C 8461-23 の分類コードは 4 ヘビー) です。

【厚鋼電線管用】

納期区分	品番	接続できる電線管		挿入できるケーブル最大外径 (mm)	重量 (g/個)	入数 (個/袋)
		ケイフレックス	厚鋼電線管呼び			
□	KWKG 10	10	G16	8	—	—
□	KWKG 12	12	G16	10	91	20
□	KWKG 16	16	G16	13	91	20
□	KWKG 22	22	G22	18	158	10

